

まちのランドマークと 交通インフラの理想の関係とは!?

日本橋高島屋S.C.のさらなる進化

株式会社高島屋 日本橋店長 常務取締役

田中良司

森井 博

『自転車・バイク・自動車駐車場 パーキングプレス』誌 発行人

【プロフィール】

田中良司(たなか りょうじ)
1962年3月19日生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、1985年4月 株式会社高島屋入社。2011年2月 横浜店副店長、2012年2月 営業企画部副部長、2013年2月 株式会社岡山高島屋副店長、2013年9月 同社代表取締役社長、2017年3月 株式会社高島屋執行役員 日本橋店長、2018年3月 常務執行役員 日本橋店長、2018年5月 常務取締役 日本橋店長、現在に至る

今号でお招きするのは特集対談初の流通業界からのゲストである。今年9月25日に誕生した「日本橋高島屋S.C.」の本館、田中良司店長だ。

日本橋といえば、私が勤務していたIHIのオフィスが大手町にあった時代は食事や接待などでよく来ていたし、自社を立ち上げたのもアドレスはここだった。個人的に非常に縁の深い土地である。もちろん日本橋高島屋にも幾度となく足を運び、買い物や食事を楽しんできた。

その親しみある百貨店が本館を含む4館体制で生まれ変わった。当然、車、あるいは自転車でいらっしゃるお客様も多く、我々パーキング業界とも浅からぬ関係がありそうだ。どんな話が聞けるのか。日本橋高島屋S.C.誕生から2週間あまり経過した10月初旬に日本橋に向かった。(対談収録:2018年10月12日)

大規模リニューアルで お客様が倍増した理由とは

森井 まずは田中店長のプロフィールを教えてくださいませんか。

田中 1985年に入社し、ほとんど日本橋店で営業系の仕事をして参りました。なかでも長く担当してきたのは1階のグランドフロアです。厳密に言いますと、途中、本社勤務や、2013年～2016年までの4年間の岡山高島屋勤務もございました。岡山では副店長を半年務めた後、店長になったのと同時に株式会社岡山高島屋の代表取締役社長を3年半務めました。その後は再び日本橋に戻り、1年半ほどになります。

森井 流通業を志した理由は何だったのでしょうか。

田中 実家が商売をやっておりましたので、やはり同じ世界に身を置きたかったというのが大きな理由です。西巢鴨の商店街で生まれ育ち、周りも商売をやっている人ばかりでした。私の家がある商店街は、映画の『三丁目の夕日』の撮影セッ

トを再現したような場所でしたね。

森井 なるほど。ところで岡山勤務のご経験があるということでしたが、当社も岡山には縁があります。ちょうど田中店長が岡山にいらっしゃった間、シェアサイクルの社会実験を担当致しました。それが2013年にスタートした岡山市のシェアサイクル「ももちゃり」の前身になったのです。

田中 ももちゃりで岡山高島屋にも多くのお客様がいらっしゃっていると思います。その点では間接的にお世話になったわけですね。交通に関連した話題で付け加えますと、岡山高島屋は交通・観光、をはじめ、IT、生活、文化など幅広い事業を手掛ける地元の両備グループ会長、小嶋光信氏に岡山高島屋の代表取締役会長を務めていただいていた。岡山の財界の雄でいらっしやいまして、いろいろご指導や薫陶をいただきまして、大変貴重な体験をさせていただきました。

森井 その後日本橋に戻られて、この9月25日に日本橋高島屋S.C.が誕生したということですね。従前に比べるとお客様がほぼ倍増したとかがっています。本館のリニューアルも大成功だったようですね。

田中 ありがとうございます。9月25日は新館も非常に来店客数が多かったのですが、本館は以前の約2.5倍でした。それ以降もほぼその数字を維持しています。最初の4日間ぐらいは新館のほうが来客数は多かったのですが、以降は本館のほうが多くなりました。

森井 相乗効果ということでしょうか。

田中 そうだと思います。今週(編集部

注:対談収録時)も本館の催会場では北海道展をやっていますが、ものすごい賑わいで、前年比でも大きくプラスの数字が出ております。また、新館は平日朝7時30分から開けておりまして、そのパン屋さんでパンを買い、その袋を持ったお客様が本館が開くと同時に北海道展が行われている催会場に移動されて、アイスクリームショップに列ができて……といった具合です。

森井 実は私も先日、先着900名限定のトートバッグを買いに来たんです。でも残念ながら9月の終わりに行ったため売り切れでした。しかし、それにしてもお客様が倍増以上というのは素晴らしい。田中店長はその理由をどのようにお考えでしょうか。

田中 新館は最新の専門店街ということで、本館との間にあるガレリアも入ると計115のショップがございます。本館との補完関係を考えまして、先に申し上げたとおり、平日朝7時30分にオープンし、計13店舗を開けております。

森井 食に関する店舗が中心ですね。

田中 はい。日本橋のひとつの顔として日本のウォールストリートである兜町が近いことが挙げられるのですが、そこで働くビジネスマンを主な対象にしています。世界の市場が相手で皆さん早朝から勤務されているので、朝食をお買い求めいただきたいというわけです。

森井 1日のエネルギー源を日本橋高島屋で買うというのは、なかなか贅沢な響きがありますね。



① / 9月25日にオープンした日本橋高島屋S.C.新館。日本初上陸を含めた計115店舗がオープン。出動前に立ち寄れる平日朝7時30分から営業する店舗も好評だ

② / 2009年に百貨店建築初となる国の重要文化財の指定を受けた本館もリニューアル。4館(本館、新館、東館、ウオッチメゾン)が一体になった約66,000㎡の新・都市型ショッピングセンターが誕生した



重要文化財である本館が備える「建築物としての価値」も必見

田中 日本橋高島屋S.C.の誕生によって本館、新館、ポケモンセンターがある東館、タカシマヤウオッチメゾン東京日本橋の4館体制となりました。国の重要文化財に指定していただいた本館は「より百貨店らしく」を目指してリニューアル致しました。

森井 百貨店らしく、という部分を具体的に教えていただけますか。

田中 本館は、できるだけ壁を壊し、柱

の付属物をはがして、大きな空間をつくり、元の大理石と漆喰の部分を表に出して、そこに商品を並べました。もともと百貨店の平場ですから、お客様はアイテムの中をぶらぶらと、ブランドの枠を超えて巡っていただくことができます。8階の催会場もかなり変えました。新館から連絡通路を渡ってきた場所の床は石をかなり延ばし、床材も変えて明るくしました。また、工事中に8階の一部にかけて使われていた漆喰の織り上げ天井が残っていたことが分かったので、それも露出させました。

森井 重要文化財ならではのエピソードですね。

田中 本館で使われている大理石は、本当に貴重でもうほほ手に入らないものです。よく見るとアンモナイトが眠っていたりもします。リニューアルに際して全館の耐震改修も行いました。日本橋高島屋の顔でもあるOTIS社製の手動式蛇腹のエレベーターも、内部機械を最新のものに変え、耐震性、安全性を向上させた上で、オリジナルの佇まいそのままです。エレベーターをまるごと最新の製品に交換するより何倍もコストがかかりましたが、やはり、あの歴史あるエレベーターの撤去は考えられません

でした。本館では、いわば引き算の美学で、本来この建物が持っている価値といえますか、生命力をできる限り戻してお客様に見ていただきたいと考えています。

森井 そうした歴史、伝統のお話がある一方、東館ではポケモンというのがメリハリがあってユニークです。

田中 「ポケモンセンタートウキョーDX&ポケモンカフェ」ですね。実はポケモンセンタートウキョーは1998年に日本橋でオープンした路面店が1号店なのです。つまり、ここが創業地で20年ぶりに戻ってきたことになります。ポケモンカフェを含めると店舗面積は約400坪でポケモンセンター史上、最大面積のメガストアです。ネット上では「ポケモンセンター、聖地に戻る」といわれています。

森井 なるほど。ただ、私のような世代はやはり本館に親しみがありませんね。私は以前からOFFERMANN(オフーマン)のバッグを愛用しているのですが、10年以上使ってかなりくたびれてきたので新しいものを買おうと日本橋高島屋のオフーマンに行ったのです。ところが、私が使っていたタイプは古くて扱いが終了していることが分かりました。それでも女性の店員さんが親切にドイツ本社に問い合わせたりしてくださったのです。



いずれも本館内部。① 吹き抜けのある1階グランドフロア。柱や手すり、床などに贅沢に大理石が使われている。漆喰の天井も美しい ② 大理石にはよく見るとアンモナイトが埋まっている ③ 今では非常に希少なOTIS社製手動式蛇腹のエレベーター

田中 ご利用いただき、ありがとうございます。4館それぞれに異なる個性がある一方で、サービスと品質は高いレベルで、まとまりがある点は共通しています。この、まとまりのある多様性によって「あらゆる世代のご満足が得られる」と考えています。

地元中央区の人口増加で日本橋高島屋の役割が拡大

森井 お客様が増えた理由として、もう一つ考えられるのが、中央区が買い物、食事を楽しむ街、働く街という側面に加えて、近年、住む街になってきたことも大きな要因ですよね。私も日本橋に自宅をもつ地元住民の一人ですが、ここ数年、タワーマンションがかなり増えてきたという実感があります。

田中 そのとおりです。私どもの商圏は地元の中央区をはじめとして、江東区、港、千代田、文京、江戸川などが主ですが、なかでも中央区の市場は非常に大きいですし、この先にも期待できると考えています。特に人口増加率が高く、今年10月時点で16万人以上ですが、中央区の概算では2028年には20万人を突破すると

いうことです。東京はまだしばらく一極集中が続くものの、都の調べでは2025年には減少に転じる予測とのこと。これに比べると中央区の人口増加が突出していることが分かります。

森井 なるほど。

田中 中央区や隣接する江東区に立ち並ぶタワーマンションには、まだ30代前半でダブルインカム・ワンキッズという、いわゆる「パワーカップル」が多いと聞いております。そのような層のお客様にとって、日本橋は自転車などで気軽に来られる生活圏でしょう。私が日本橋に復帰してからは、ここにもしっかり目を向けていこうと考えてきました。

森井 日本橋=よそ行きの街のイメージが、もう中央区や江東区の人にとっては普段使いの街になったわけですね。

田中 そうですね。日本橋にはいろんな顔があるわけです。日本トップの金融街、オフィス街である一方、江戸開府から400年超の歴史と文化が継承されてきた中心地もあります。また、古き良き伝統が残る一方で、再開発によって今一番活気のある街でもあります。多様な方々にお越しいただき、半日〜一日お楽しみいただければと思っています。



近頃のパワーカップルは合理的なシェアサイクルを使いこなしている!?

森井 お近くにお住まいのお客様が増えたということで、自転車でいらっしゃる方も増えたわけですね。駐輪場の場所を案内するサインや誘導など、工夫されていることはありますか。

田中 駐輪場、および自動車駐車場については私どもの直営ではありませんので、具体的なことは申し上げられません。ただし高島屋を含む地域一帯の再開発に伴い、台数が増え、お客様の利便性が増したとは聞いております。

森井 御社のHP「地区・駐車場 リアルタイム案内 日本橋タカシマヤ」を拝見すると、周囲の駐車場のリアルタイム満空情報と駐輪場の場所が明記されていますね。ちなみに、東館裏の地下駐輪場は中央区から当社が請け負って管理をさせていただいております。

田中 そうだったんですね。

森井 また、白い清潔なユニホームに身を包み、歩行者の安全確保にも配慮しつつ自動車を誘導するスタッフさんもキビキビとして非常に良い印象です。都内10区(注:相互乗り入れができるのは9区)シェアサイクルのポートも近いですね。

田中 シェアサイクルはあの赤い電動アシスト自転車ですよ。最近、日本橋で



1933年(昭和8年)の日本橋高島屋オープン時の外観写真。全館冷暖房装置を備えており当時の宣伝コピー「東京で暑いところ、高島屋を出たところ」は一世を風靡したという

も乗っている方を見る機会がかなり増えた印象があります。また、私の岡山勤務時代も街で「ももちゃり」に乗っている方や、岡山高島屋にいらっしゃる方も目にしました。

森井 東京自転車シェアリングは現在、総計で約5,600台になりました。海外の主要都市は、概算で台北7,300台、ロンドン13,850台、バルセロナ6,000台、パリ23,600台、ニューヨーク9,789台、モントリオール6,250台ですから、東京も台数では海外の都市に追いつきつつあります。月額会員ならば基本料2,000円(月額)を払うと30分以内であれば何度でも無料で借りることができてお得です。あるいは中央区のパワーカップルもシェアサイクルを活用されているかもしれません。

田中 確かにそうかもしれません。パワーカップルの志向は合理的で、結婚して新生活を始めた時から「断捨離」が日常なのとか。自分たちの親世代がモノであふれたのを見て育ったので、それを反面教師にしているのかもしれませんが。また、モノに対しても独自の価値観をお持ちです。例えばお金をかけなくてもいいと思うものは機能的重視で100均などで買い、一方で、どうしても欲しいモノは高くても購入されるようです。

森井 パワーカップルのなかには、高島

屋のゴールドカードを持っている方もいらっしゃるのでしょうか。5時間まで無料で駐車できますよね。車を使って頻繁に日本橋高島屋S.C.に行く方なら年会費を払ってもお得かもしれません。

田中 店舗によって無料になる時間は異なりますが、メンバーズサロンもお使いいただけます。

森井 ところで百貨店は、近年、外国人観光客も大切なお客様になっていますよね。日本橋高島屋S.C.ではいかがですか。

田中 先ほど申し上げた東館のポケモンセンターでは欧米の方を中心に来客が増えている印象です。特にヨーロッパの方は、地球の裏側でこの重要文化財の建物を見ると驚かれる方が多いようです。東京のど真ん中にこんなクラシックな正統の百貨店があるのか!と。2階にジョエル・ロブションがあるんですが、フランスからお見えになった方が「なぜロブションが東京の百貨店の内部にあるの?しかも中はパリの本店と同じ内装じゃないか!」とお聞きになることもあります。

森井 カルチャーショックを受けて帰国されるわけですね。

田中 また、顧客係(編集部注:エレベーターの案内係、エレベーターガール)の立ち居振る舞いや説明の様子に興味を持たれる方も多いですね。それと、インフォメーションカウンターには高島屋を象徴

する「バラ」が一輪飾っており、開店時の迎客(ご挨拶)で「本日のバラは〇〇です。このバラは……」とご説明しているのですが、これについても外国人のお客様は驚かれるようです。もちろん、サインの英語、中国語2種、韓国語など多言語化やQRコードの導入は以前から行っていますが、日本橋店は、高島屋グループ内ではインバウンドのお客様は比較的少ないほうです。多いのは新宿店と大阪店ですね。

百貨店のエキスパートが語る 「商業施設の駐車場は かくあるべき」

森井 では最後に、これまでのご経験からどのような駐車場なら「理想的な商業施設の駐車場」といえるのか、アドバイスをいただけますでしょうか。

田中 入庫、出庫いずれにおいても「お待たせしないこと」だと思います。私は個人的に車が好きで、自分で運転する機会も多いのですが、なかなか駐車場に入らなかったり、タワーパーキングから自分の車が出てこない時などは、やはりストレスを感じてしまいます。停めやすさで言うなら平置きが理想的で、岡山時代はその恩恵にあずかりました。ただ、あまりに広いと今度は自分の車をどこに停めたか分からなくなる場合もありましたが……。

森井 広すぎる駐車場といえば、今年我々が視察した上海では、駐車場入口に自分の車がどこにあるか探す機器が設置されていて非常に便利そうでした。自分の車のナンバーを入れると映像が出てきて、どの辺にあるか分かる仕組みです。たまにいる自車のナンバーを忘れてしまう人のために、およその入店時間から探せる検索機能も付いていました。

田中 それは確かに便利ですね。

森井 中国がすごいのは、そうした機器もさることながら、料金決済のほとんどすべてをスマホで行っていることです。



新館1階のエントランスにある、森の中にある緑に囲まれた新たな憩いの場「IN THE GREEN(インザグリーン)」

しかも若い年代だけでなく、シニア世代もきちんと使いこなしているのだから感心しました。

田中 確かにそれは進んでいますね。先ほどの理想的な駐車場の話に戻りますが、私どもの店舗がある日本橋などの都市部においては理想の追究はかなりの難題といえますね。

森井 そのソリューションとなる有望な手段は「予約」です。一昨年、オーストラリアのシドニー、ブリスベンで予約制パーキングを視察しました。スマホで空きがあるかを確認し、空いていたらそのままスマホで一定の時間を予約すればいいのです。その間は予約車しか停められませんので、待ち時間は基本的にゼロです。予約制パーキングは日本でも徐々に実用化が進んでいて注目を集めています。

田中 そのオーストラリアの事例は、私どものような商業施設内に限定されたものですか？

森井 いえ、ほぼ市内の全域に配置されていました。



歴史と伝統を大切にしながらも、まちの変化を敏感にキャッチし、変えるべきところは躊躇なく変える柔軟性も併せ持つ。「各世代のファミリー皆様楽しんでいただけるのが日本橋高島屋S.C.です」(田中店長)

田中 それは良いですね。エリア全体に導入できれば空き駐車場を求めてさまよう車もなくなり、流れがスムーズになりそうです。非常に合理的ですね。

森井 日本橋全体のエリアマネジメントにこの予約制パーキングが組み込まれれば、この街はさらに進化できるかもしれません。ただ、現実的には地元中央区との調整や警察署の承認など、さまざまな縦割りの弊害があり、そう簡単に導入で

きるものではないのですが……ともあれ、我々パーキング業界としても何かお手伝いできることがあれば、ぜひサポートさせていただければと思います。

田中 承知しました。よろしくお願い致します。

森井 本日は日本橋高島屋S.C.の誕生から駐車場、駐輪場に至るまでさまざまなお話をさせていただきました。誠にありがとうございました。 **PP**

【パーキングプレス 発行人】 **森井 博** のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京京橋八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男声合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モーリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役会長

【略歴】 1938年(昭和13年) 宮崎県延岡市生れ80歳。
1957年(昭和32年) 石川県立金沢泉丘高校卒
1961年(昭和36年) 東京商船大学(現東京海洋大学)卒
1961~1979年 石川島播磨重工業(現:IHI)
1979~1991年 東芝
1991年~ 現職

【趣味】 現在: ゴルフ・車・自転車・歌・仕事
過去: 水泳・野球・陸上競技・テニス

【遍歴】 ゴルフ: 毎週1回ホームコースでラウンド、週1~2回練習場通い。
車: 毎日通勤で運転。中古車3台を大切に乗り廻す。
自転車: マツダレベル、プリチストンモルトン、プロンプトン他数台保有するも年齢を考え余り乗らない。
歌: 六本木男声合唱団でロクに楽譜も読めないのに毎週練習に励む。昨年11月にはローマ、バチカン市国の大聖堂でミサ合唱。今年6月にはニューヨーク・カーネギーホールで14曲合唱。
仕事: 健康のため平日は毎日9:00~17:00出勤、社員に迷惑をかけている。但し、土、日、祝日は絶対に出社しない。
水泳: 漁港で漁師の子供達と一緒に育ったため、小学校に入る前から泳ぎは得意。ちなみに小学校の名前は延岡市立港小学校。
野球: 中学生までは本気でプロになるつもりであった。元西鉄ライオンズ 故・稲尾和久投手、完全試合投手 田中勉、元巨人 淡河弘捕手は友人。元巨人監督 原辰徳氏の父 故・貢氏も友人でボクサー犬を買った仲。
陸上競技: 高校時代 短距離、やり投げ、インターハイ2回出場。東京陸協元会長でオリンピック3回出場の大串氏とは友人
テニス: 元テ杯選手 本井満氏のコーチでかなりの腕前(?)になるも、45歳時アキレス腱断裂でウィンブルドン出場断念。

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

